

掲 示 板

* 研修実施報告 ④ *

～研修情報見本市～

これからの時代にふさわしい職員研修を各市町村で実施される際の参考にしていただくため、マッセOSAKAでは、研修担当者の皆様を対象に2年ぶりに研修情報見本市を開催（9月6日）しました。

当日は、事前に提案のあった民間の研修コンサルタント機関の中から選定した7社によるプレゼンテーション（1社1テーマで持ち時間40分）があり、22市町村から35名の研修担当者が参加されました。

研修情報見本市終了後のアンケートについては、多くの参加者から「たいへん参考になりました」という感想をいただき、所期の目的を達成することができました。

なお、当日のプレゼンテーションの主な内容は次のとおりです。

■テーマ『職場の活性化研修』

プレゼンター （社）日本経営協会 松下 直子 氏

内 容：職員一人ひとりが、求められる役割を認識するよう意識の向上を図り、メンバー全員のコミュニケーションを効果的にし、さらには、メンバーの個々の持ち味を活かして能力を伸ばす等、組織の活性化に必要なスキルを学ぶ。



■テーマ『地方自治法』

プレゼンター （株）東京リーガルマインド 大西 宏高 氏

内 容：地方自治法の基礎知識を習得することにより、職務上の法律問題に対応できる能力を身につける。基本的な事例・判例を学習しながら、地方自治の現状・これからのあり方を考え、生きた「地方自治法」を身につける。

■テーマ『住民参加実践力向上』

プレゼンター （株）日本コンサルタントグループ 杉山 裕美 氏

内 容：住民参加の必要性や住民参加が有効に機能する場面、基礎的な知識についての講義や、住民参加の事例をもとにロールプレイ形式による演習を行ない、受講生自身が住民参加型の行政運営を体験する。

■テーマ『カウンセリング・マインド研修』

プレゼンター （株）日本マンパワー 石井 宏 氏

内 容：自己のキャリア及び自分を取り巻く環境や他者から期待される役割を客観的に評価し、将来の明確な職業上の目標を設定し、自律の人材を育成する。

■テーマ『部下指導・育成のためのコミュニケーションスキル研修』

プレゼンター （有）ビジネスインフォメーションセンター 永田 章 氏

内 容：OJTにおけるコミュニケーションの重要性と管理者の役割について学び、部下の育成指導に必要なストローク（行程）を習得する。

■テーマ『住民との協働～ワークショップ（ファシリテーション）研修』

プレゼンター （株）インソース 舟橋 孝之 氏、西 将司 氏

内 容：市民と行政の協働による都市づくりを目指して、目標達成のための企画立案能力向上・ワークショップ運営能力の強化を、ロールプレイングを通じて学ぶ。

■テーマ『会議能力向上研修』

プレゼンター （株）話し方教育センター 千名 貴志 氏

内 容：会議運営の基本的な知識を学び、会議の発言のあり方、聞き方、司会進行の具体的技法を学び、会議の円滑な運営に必要なスキルを習得する。

【問い合わせ】マッセOSAKA研修課 TEL:06-6920-4567

掲 示 板

* 研修受講者レポート ④ *

～「政策ディベート研修」に参加して～

田尻町民生部介護健康課 鳥田 牧人

ディベートのルールに則り、まず、私の主張をさせていただきますと、私は研修が苦手です。その根拠は、恥をかきたくないということです。

マッセから届く年間研修実施計画の中には、受けてみたい、あるいは、受けなくてはならないと思われる研修が数多く見られます。受けてみたければ申し込めばいいのですが、自ら申し込んでおきながら、「わからなかったらどうしよう」、「講義についていけるのだろうか」、「グループ活動になったら、他の方に迷惑をかけるのではないかな」等々、不安材料を挙げればきりがなく、失敗すれば恥をかく。今さら自分の知識のなさを人前でさらしたくない。そう思って、結局マッセの年間研修計画を毎回黙殺してきました。

しかしながら、じわじわと勢力を増してくる、特に“カタカナ”を含んだ研修名を見るにつけ、このままでは何か取り残されてしまう、部屋の隅に置き去りにされている『ワープロ』と同じ運命をたどることになる、この焦燥感も年を経る毎にだんだん大きくなってきました。

そして、今回、私は遂に『政策ディベート研修』を申し込んでしまいました。なぜ、ディベートなのかというと、以前から興味があり、本も数冊読んだことがあったからです。しかし、いずれの本にも、「ディベートは、実際体験してみないとわからない。」と記されていました。「百読は一体験に如かず。」であれば、まずはこれからはじめてみよう。と腹をくくって申し込みました。

緊張の8月22日。研修冒頭での参加者の自己紹介とあわせて発表された皆さんの参加動機や目的・目標を聞いて、緊張は頂点に達しました。なんと自分の参加動機がいい加減で、情けないものかと。

しかし、この緊張と自己嫌悪を和らげて下さったのが、講師の師岡先生の研修の進め方でした。私には、「そんなに肩肘張らず、とにかくやってみましょう。わからなくて当たり前ですよ。」と仰っていただいているように思えました。

ディベートでは、自分の主張をするため、また、相手の主張を分析するためにも、その論題の情報を収集し、研究することが必要です。そして、そこから得られた知識・情報を根拠とする自らの主張をわかりやすく、かつ、説得力をもって相手に伝える能力、聴衆の前で状況に応じて話す能力が求められます。師岡先生は、このことを講義という形で身をもって教えて下さいました。先生の講義はともわかりやすく、人に理解してもらおう話し方についてもこの研修で学ぶことができました。

私は、今回『ディベート』という技法を習得するために、研修へ参加したわけですが、如何に注意深く見聞きし、人に話すということは、相手にわかってもらうということであり、そのためには、自らの知識を高めなくてはならないということ。これは当たり前のことでありながら、心がけていないと忘れてしまう行為であるということであらためて認識させられた研修でした。

平成18年度 政策ディベート研修 日程表

	午 前			午 後				
	9:00	9:45	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	17:00
8/22 (火)	オリエンテーション	講義： ディベートとは何か	講義： ディベートを学ぶ意義	講義： 議論の仕方、試合の進め方、 ビデオ鑑賞	講義： 各スピーチの役割、ノートの取り方、ビデオ鑑賞	講義： 試合準備（各チーム内で）、反省・講評、明日の試合準備	講評： まとめと質疑応答	講評： まとめと質疑応答
8/23 (水)		審査の仕方						

講師：神奈川大学外国語学部専任講師 師岡淳也 氏

【問い合わせ】マッセ OSAKA 研修課 TEL:06-6920-4567